

未来に向かって 自ら羽ばたける北っ子！ ～考え動く 人とつながる 未来を創る～

ばんりょく なか あ こ は は そ

万緑の 中や吾子の歯 生え初むる 中村草田男

(美しい新緑の景色の中、大切な我が子に初めて白い歯が生え始めてきたことだ)

新年度がスタートして、1 か月半が過ぎました。新緑の季節を迎えると、いつもこの俳句を思い出します。美しい緑と、初めて生えてきた歯の白のコントラストがとてもすばらしく、生命力と子どもの成長を喜ぶ思いがあふれています。北小の子ども達も、この俳句のように、幸世の豊かな緑と保護者・地域の皆様の愛情に包まれ、いきいきと育っていています。

さて、今年1年、子ども達に繰り返して伝えたいと思っている言葉があります。それは「自分から」と「わくわく」です。子ども達には「よし、こうしよう」と自分から動いて、わくわくしながらいろいろなことにチャレンジしてほしいと思っています。そして私たち教職員も、子ども達が「よし、こうしよう」「わくわくするな」と思える授業や活動を目指し取り組んでいきたいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校の教育活動にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

別紙として、地域のボランティアの募集のお知らせを配付させていただきます。ぜひ、ご参加くださいますようよろしくお願いいたします。



3年理科 虫探し

朝チャレと読書タイム

北小では、今年度より、昼の掃除のあと、10 分間の読書タイムを始めました。

学校評価アンケートの「家で読書をしていますか」(児童)について、R6 は肯定的な答えが52%、(R5 は66%)、特に高学年の読書離れが顕著で、3年88%、4年40%、5年28%、6年16%という結果でした。3年生になり、時間割から「図書」の時間がなくなったことや、それが、絵本から文字の多い本へと移っていくタイミングと重なったことで、うまく移行できなかったのではと思われます。

読書活動は、学力向上のためにも有効ですが、自分の人生を豊かに広げてくれるものだと思います。まだ始まって1か月、「どの本読んだらいいかわからへん」「はぁ、読書か・・・」主に3階(5・6年)からため息が聞こえてきます。しかし、「この本読むようになったで」「家でも読んでも」という声も聞こえてくるようになりました。(本の好きな子は黙々と読んでいます。)これから「読書って楽しいな」「本が好きになったよ」と思う子が増えてほしいと願っています。



います。

また、朝は体づくりとして「朝チャレ」に取り組んでいます。朝、音楽に合わせてジャンプやステップを踏むことで、脳を覚醒させたり、神経系の運動機能を向上させたりすることをねらいとしています。今年度は体幹を鍛える「四股踏み」や呼吸法も取り入れ、楽しく体づくりに取り組んでいきたいと思っています。